

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 48

平成29年(2017)
11月9日

おもな内容

平成28年度 決算認定 ……	2~5
事件案他・補正予算 ……	6~7
一般質問 ……	8~15
委員会報告 ……	16~18
意見書・任命同意	
採決一覧・議会日誌 ……	19
みんなの広場 ……	20

トピックス 料金改定は住民理解を第一に
病院改革プランを着実に実施せよ



道の駅「山陰海岸ジオパーク 浜坂の郷」竣工式

(平成29年9月21日)

昨年から工事を進めてきた道の駅が完成した。指定管理者である「株特産しんおんせん」社長の中村寿弘氏は、「地域の特徴を生かした道の駅に育て、地域産業に貢献したい」と力強く語っていた。繁盛を期待したい。

料金改定は住民理解を第一に 病院改革プランを着実に実施せよ

第84回（平成29年9月）定例会を8月30日に招集し9月22日まで24日間の会期で開催しました。町長から報告1件、事件案5件、人事案14件、平成29年度補正予算案7件、平成28年度決算認定11件のほか、追加議案で工事請負契約1件が提出されました。決算認定にあたり、決算特別委員会を設置し4日間の集中審査の結果、原案のとおり認定しました。今回は決算認定を主に報告します。

一般会計の決算

一般会計の決算収支の状況は、表のとおり、歳入総額108億5,036万円、歳出総額103億1,628万1千円、歳入歳出差引額（形式収支）は、5億3,407万9千円となり、そのうち平成29年度に繰越すべき財源3,268万9千円を差引いた額（実質収支）は、5億139万円の黒字となつてい

る。これから前年度の実質収支額を控除した単年度収支の額は7,385万2千円の黒字となつている。一方、歳入決算額を自主財源と依存財源に分析してみると、自主財源の総額は、26億5,107万8千円で、決算総額に占める割合は24.4%である。繰入金金が大幅に増加している。依存財源の総額は、81億9,928万2千円で、決算総額に占め

る割合は、75.6%となつている。町債の状況では、当年度末の残高は137億792万5千円となり、前年度末に比べて1億5,727万円増加している。町民一人あたりの町債残高は9億338万2千円と、いずれも増加している。

特別会計の決算

平成28年度における6事業特別会計の歳入

公営企業会計の決算

平成28年度公営企業会計（浜坂温泉配湯事業、水道事業、下水道事業、公立浜坂病院事業）の決算状況は表のとおりである。それぞ

れ、決算42億2,920万円、歳出決算40億8,888万円で、差引残額は1億4,032万円となつている。翌年度に繰越すべき財源1,050万円を差し引くと、実質収支は1億2,982万円の黒字である。各特別会計の決算状況は表のとおりである。（当年度から、コミュニティプラント事業と下水道事業は、公営企業会計に移行している。）

この事業会計において、公営企業の原則である企業の経済性並びに公の福祉の向上に努力しているが、料金改定等は住民理解を第一に慎重に進めるべきである。特に、病院事業は危機的な状況が継続しており、自ら示した病院改革プランを着実に実施されたい。総じて、一層の努力と抜本的な改革の挑戦に期待をする。

平成 28 年度 各企業会計の状況

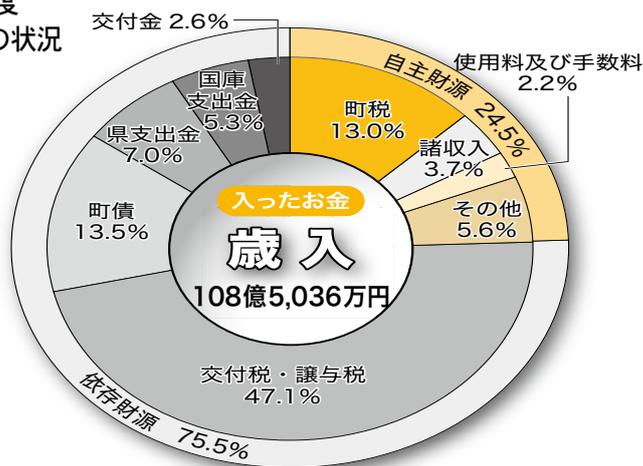
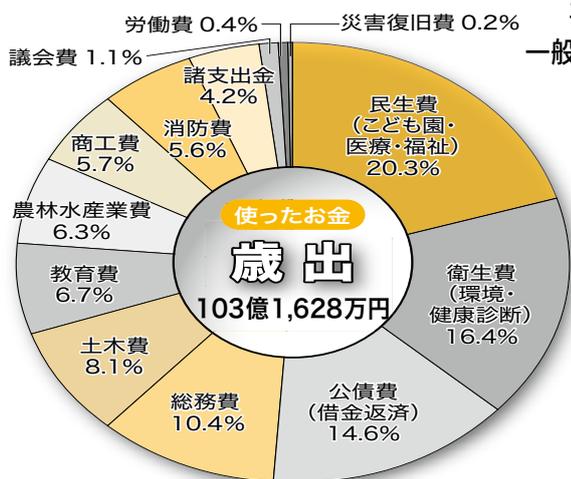
（単位：千円）

会 計 名	収益収支		資本収支	
	収入	支出	収入	支出
浜坂温泉配湯事業会計	45,066	35,855	0	62,203
水道事業会計	414,655	417,456	495,740	621,661
下水道事業会計	1,111,247	1,041,554	91,958	460,681
公立浜坂病院事業会計	1,593,935	1,381,127	193,637	191,601



ランで進められる地域巡回講座は、病院を身近に理解く事業である。信頼回復が病院再生の原点である。

平成28年度
一般会計決算の状況



平成28年度 各特別会計の状況

(単位:千円)

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
国民健康保険事業					
事業勘定	2,068,468	2,001,291	67,177	0	67,177
照診施設勘定	22,131	22,131	0	0	0
八診施設勘定	15,590	15,590	0	0	0
歯科診療施設勘定	51,161	51,161	0	0	0
後期高齢者医療事業	211,645	209,657	1,988	0	1,988
介護保険事業	1,710,092	1,665,336	44,756	2,500	42,256
浜坂地区残土処分場事業	103,798	87,519	16,279	8,000	8,279
温泉地区残土処分場事業	33,744	26,612	7,132	0	7,132
七釜温泉配湯事業	12,571	9,583	2,988	0	2,988
合計	4,229,200	4,088,880	140,320	10,500	129,820

「丁寧・親切・迅速」な対応を

(監査結果等から)

監査委員

川崎 雅洋(代表)

宮本 泰男

① 町税等の徴収

税等負担の公平性の観点から、消滅時効を厳格にし、住民の納税意欲を阻害することなく、更に徴収体制の徹底と収納率の向上に努力されたい。併せて、使用料、手数料等未収債権が増加しており、速やかな解消と滞納繰越の防止を図られたい。

③ 職員の人材育成

組織の活性化には、職員の能力発揮が不可欠である、業務は受動的ではなく、能動的、積極的に意欲をもって遂行し、住民に希望と活力を与える人材の育成と基盤整備を図りたい。さらに、職員は全体の奉仕者であるとの認識に基づき、「丁寧・親切・迅速」な対応、接遇に努められたい。

④ 業務の簡素化・合理化

事務処理量の増加から職員と住民との意思疎通が希薄化しつつあると危惧する。また、効率的な業務の遂行にはチームプレーが必要不可欠だが、縦割り等、組織内の意思疎通、連携、調整が不十分であると感ぜられる。早急に改善策を講じる必要がある。制度や事務事業を総点検して、見直し、圧縮等、事業の取捨選択が必要である。さらに努力されたい。

② 保健・健康・福祉・医療施設の推進

住民の健康管理のため、様々な健康診断を実施し、受診率



病院改革プ
していただ

次年度施策に生かせ

決算認定は、決算から施策の成果を点検し次年度に反映すべく議論するものです。今回の決算特別委員会では、委員長に中井勝議員、副委員長に谷田一富議員を選出し、議長を除く14名の委員で一般会計・特別会計・企業会計の全11会計を審査しました。集中して多くの議論がありましたが、紙面都合のため一般会計の一部を紹介します。

総務費関係

- Q** 政務活動費を使用したのは5人だけか。
- A** 年度末に集中したのと、悪天候のため中止となり減った。
- Q** ケーブルテレビは温泉と浜坂がつながっている。それを町民は知っているか。
- A** 知らせていない。広報等で知らせるようになる。
- Q** ケーブルテレビの一般質問以外の視聴率は。
- A** 週1回で80%は見ている。
- Q** ホームページの運用で町長へのメールのアクセスできないか。
- A** つながっているが、わかりにくいならば検討する。
- Q** ホームページの大修をしてほしい。課によって管理がバラバラにみえる。
- A** 基準はない。今後

- 考える。
- Q** 出会橋の交通渋滞を、解消するために対策を。
- A** 美方警察、国土交通省へ働きかける。
- Q** 婚活推進委員の活動内容は。
- A** アンケートをとり、セミナー事業も実施した。
- Q** 町民ふれあいの旅（19万円）参加者が少なくなっている。
- A** JRとの関連もあるが、募集方法を考えたい。
- Q** 温泉支所の職員の対応が悪い。本庁へ行けとの指示がよくある。
- A** 支所での完結を図りたい。
- Q** 湯めぐりエクスプレスの観光目的をなくしたらどうか。
- A** 利用状況をみて検討する。
- Q** エココンパクト推進協議会は何をしたか。
- A** エネルギーの地産

- 地産を考えている。
- Q** マイナンバーの実施で零細業者の負担が多いと聞いたが。
- A** 申告書には記載しなくても良い。今年は必要になると思うが。年金は現時点では不明である。
- Q** 町民が相談に行く。相談にのってあげて、解決してあげることが必要だ。接遇の仕方の問題だ。
- A** 町民に納得いただくように対応することを指導する。

民生費関係

- Q** 緊急通報システムの設置状況は。
- A** 現在101台、昨年度より5台減った。必要な方には民生委員を通じて設置している。
- Q** 臨時福祉給付金の支給者は。
- A** 28年度は4,130人の申請で支給決定者

- は2,096人。
- Q** 放課後児童クラブ冬季の、開始を早めよ。
- A** ニーズ把握し検討する。
- Q** 認定こども園の臨時職員の賃金、働き方、精神面のケア等労働環境の体制改善や正職員を増やすよう要望する。
- A** 風通しを良くするように努める。できるだけ正職でカバーしたい。
- Q** ゆめっこ認定こども園の壁面画が色あせ汚れている。早急に修復すべきである。
- A** 改修方向で検討する。
- Q** 浜坂認定こども園移転事業、大庭認定こども園との統合、将来性、まちづくり等勘案し白紙に返せ。再考すべし。
- A** 津波対策が緊急かつ重大な課題。安全な場所を地元と協議していく。

労働費関係

- Q** シルバー人材センターの負担金が増えたのはなぜか。
- A** 国からの補助金が満額出るため、自治体が半額負担をしている。
- Q** 高校生の進路状況は。
- A** 3月末で就職者21名、そのうち町内就職者は11名。
- Q** ドクターヘリ等、負担金の内容は。周産期医療の本町の利用状況は。また広報等で利用促進せよ。
- A** 2市3町で負担する。107件中3件の利用。鳥取での出産が多い。
- Q** 浜坂病院の継続は認められるか。一般会計で持つことを再考すべき。
- A** 必要性、重要性から改革プランを着実に推進する。

Q 28年度G Iを意識した事業はあるのか。
A 意識した事業はしていない。

Q とんぼの里グラウンド整備はしたが、どのような方が利用しているのか。

A 猪に荒らされたため整備をした、利用実績は地元住民が多い。

農林水産業関係

Q 有害獣対策の事業費補助金が減額しているがその要因は。電気柵設置の補助制度はあるのか。

A 狩猟免許取得やワナの講習に助成をしており、その対象者が減少した。電気柵の補助は被害対策促進協議会で行っている。

Q サンビーチボードウォーク不良箇所が多くなる、直ちに修繕すべき。

A 県と協議する。職

員でも修繕に努める。

Q 岸田川の魚が減少しているようだが。

A 川鵜が影響している。資源保護等、環境保全に努める。

商工費関係

Q 「道の駅」駐車場の安全性は保たれているのか。

A 当初の計画どおり、大型車はバックでの進入となる。

Q プレミアム商品券効果はあったのか。

A 商工会との連携で一定の効果はあるが、もっと有効な手段は検討していく。

Q 田舎体験ハウスはどこに設置しているのか。

A 湯のポケットパーク付近で、借上げ料は15万円である。

Q 湯村温泉内の駐車場対策はどうなっているのか。

A 誘導を改めて考えたい。不法駐車は町道管理の面からも検討したい。

Q ジオパーク館のエレベータを復活できないか。

A 稼働できるように経費を調査している。

Q 地熱対策費のバイナリー発電の成果と足湯の使用休止の原因は。

A 電力換算で70万円程度のメリット。薬師湯への井口水が減少し温度低下ができなかった。

土木費関係

Q 消雪装置がよく詰まるようだが。

A 取水場所から、枯葉等が詰まりやすい。エアバルブ等を検討したい。

教育費関係

Q 町内には、スポーツをはじめとして優れ

た技能の持ち主がいる。人材活用すべきではないか。

A 中学の部活動で外部講師の活用もある。教育委員会で検討したい。

Q 小中学生が町の代表として多くの大会に出場している。各種大会派遣費の増額はできないか。

A 大会派遣の補助制度をもって、援助している。検討の余地はある。

Q 温泉小学校等、エアコン設置で環境整備が図られ、教育効果も高まっている。残り4校の設置も早期にすべき。

A 国の補助を受けるため現在各校の環境調査を行っている。引き続き設置に努力する。

Q 文化レベルの均衡や地域活性化のため、地区公民館を早期に全校区に設置すべき。場

合によっては集落支援員の活用も視野に。

A 様々な方法や考え方で該当校区と検討し早期に設置したい。

Q 浜坂認定こども園の移転に伴う体育協会との協議は指定管理者の立場、もしくは単にスポーツ団体として行っているのか。

A 両面の立場で行っ

ている。誠意をもって進めている。

Q ビーチサッカーで多くの若者が町を訪れている。麒麟獅子マラソンのように町を上げて取り組むべきではないか。

A そのような形になるよう住民参加や宣伝を強化していきたい。



議場は住民と町執行組織との論戦の場である。住民の真摯な意見をもとに、確かだ明快なビジョンを示しながら住民との協働を進められたい。

チェック！ 事件案他

こんな「決まり事」になりました

工事契約

但馬牛研修センター建築工事請負契約の締結

1. 契約の目的
但馬牛研修センター建築工事
2. 契約の方法
指名競争入札
3. 契約の金額
8,413万2千円
4. 契約の相手方
新温泉町歌長270番地
立道建設株式会社 代表取締役
立道摩利子

主な質疑

熟度が不足、
自立できるのか

Q 研修期間は何年か

(協力隊員は3年間だが)、終了後の自立経営はどこでするのか、空き牛舎の利用は無理がある。利用料はどうするのか、冬季の除雪は誰がするのか、誰が指導するのか、水の確保はどうするのか。

A 期間は5年間、研修期間内に適地を見つけていた。利用料は未定で条例時に提出

する。施設内道路の管理は農林水産課が行う。水は上水道を活用する。水はログハウスから分岐したい。

Q なぜこの地が候補地となったのか。建設の財源はどうなっているのか。研修後のフォローはどうするのか。

A 和牛試験地として実際に牛を飼っていた。財源は、交付金2分の1と残りは合併特例債とする。研修中に各種支援事業の利用を検討しながら順次対応していただく。

指導は生産者にお願
いすべき

Q 計画の熟度が足りない。新規の畜産経営は成り立たないと言われている。自立のシナリオができていない。日常のセンター管理は誰がするのか。繁殖か肥育か、生きた指導は生産者にお願いすべき。

A 熟度が不足している部分があるが、管理は研修者に行っていた。研修は繁殖を考えている。経験豊富な牧場公園の指導はお願いしている。

Q 水を抑えた経営で、放牧はほとんどしないと聞いたが、その内容は。臭気が気になるが対応はできているのか。

A 水の使用はある。放牧は糞尿対策もあり当初は行わない。臭気対策はカーテンで行う。

任命同意

農業委員会委員の任命同意

同意

現委員は、平成29年10月22日をもって任期満了となるため、新制度のもとで新たな委員が任命された。任命同意された委員は11人で次の方々(任期は3年間)

- 谷口 正友 (対田)
- 村尾 賢一 (飯野)
- 竹中 道明 (鐘尾)
- 赤坂 裕司 (桐岡)
- 平田 慶治 (諸寄)
- 小谷 正美 (枋谷)
- 橋本 哲次 (和田)
- 中村 眞一 (春来)
- 田中 榮作 (清富)
- 田中 定美 (和田)
- 松元けい子 (井土)

いと言われたが、同一地区に2名ある。なぜか。

A 同一地区だが選出区分が違う。

Q ここに至るまでの経過で応募者の公表はされたか。選考委員はどのように選んだか。推薦で選考されなかった人は、議会で決定にならなかったとも解せるが、その説明はどのようにするのか。

A 選考委員は6名。応募は13名あった。公表は町のホームページで行った。任命できなかった2名は通知する。

Q 地域バランスで浜坂地域6名、温泉地域5名だが、耕地面積で言えば人数が逆ではないか。

A 地域性の考慮は適正ではないとの指導のもとで選定した。適正化推進委員は地域割で選任する。

主な質疑

地域バランスを考慮
すべき

Q 地域性は考慮しな



工事が進む但馬牛研修センター、完成は3月末(湯地内中山地区)

報告他

健全化判断比率及び資金不足比率の報告

健全化比率は好調だが、病院事業の経営健全化が急務

平成28年度各健全化判断比率において、実質赤字比率、連結実質赤字比率では赤字は生じていない。実質公債費比率は前年比1.8ポイント改善され、11.8%である。早期健全化基準の25.0%と比較するとこれを

健全化判断比率 (%)			
区分	平成28年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	14.27	20.0
連結実質赤字比率	-	19.27	30.0
実質公債費比率	11.8	25.0	35.0
将来負担比率	94.4	350.0	

(備考) 実質赤字額及び連結実施赤字額がない場合は、「-」と記載している。

資金不足比率 (%)		
特別会計の名称	平成28年度決算	経営健全化基準
浜坂温泉配湯事業会計	-	20.0
水道事業会計	-	20.0
公立浜坂病院事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0
七釜温泉配湯事業特別会計	-	20.0

(備考) 資金不足が生じない場合は、「-」と記載している。

下回っている。将来負担比率は、前年比11.4ポイント改善され、94.4%である。資金不足比率は、公立浜坂病院事業会計の資金不足が改善され全会計で不足は生じていない。しかし、内情は一般会計からの約5億円の支援による特別利益での改善であるため、経営健全化に向けた根本的な取り組みを徹底されたい。監査委員の意見を付けて報告され、賛成多数で承認された。

旧照来小学校校舎解体工事に4,720万円、浜坂道路開通記念事業に300万円を負担!

平成29年度一般会計予算補正額 3億1,332万6千円を増額し
総額は102億7,388万3千円

チェック! 補正予算

まちの台所事情が変わりました

この度の一般会計補正予算は、年度途中での事業進捗や新たに発生した状況に対応すべく各費目全体にわたって予算補正が行われた。新規の事業で主なものは、総務費では、旧照来小学校校舎解体工事4,723万円、防犯カメラ設置補助8万円、民生費では施設入所に伴い障害者地域活動支援センター158万2千円補助、保育料軽減事業補助57万6千円、衛生費では一般廃棄物収集運搬業務委託693万4千円、農林水産業費ではため池改良工事490万円、漁業研修生宿舍整備70万円、商工費では住宅リフォーム助成等220万円、消費者対策電話録音機購入136万円、土木費では浜坂道路開通記

念事業に300万円、道路橋梁の工事請負費150万円、修繕料200万円、湯村地区街並み環境整備分析業務250万円がそれぞれ増額となった。今回の一般会計補正は3億1,332万6千円を増額し総額は102億7,388万3千円となった。

また、併せて国民健康保険事業特別会計補正予算ほか5件も議案上程された。これら補正の多くは平成29年度各会計決算の確定に伴う繰越金の処理として補正されたものである。いずれも賛成多数で可決承認された。各会計の補正額は次の表のとおりである。

平成29年9月補正予算 一般会計、特別会計、企業会計

(単位:千円)

会計名		補正額	補正後予算額
一般会計		313,326	10,273,883
特別会計	国民健康保険事業勘定	△2,803	2,166,404
	後期高齢者医療	1,986	220,654
	介護保険事業	14,466	1,756,473
	浜坂地区残土処分場事業	0	202,724
	温泉地区残土処分場事業	7,131	105,720
七釜温泉配湯事業		2,986	10,326

ずばり！ 町政を問う。



一般質問とは、一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営を進めているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

本町議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができます。質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。一般質問の質問時間は、答弁時間を除き40分以内で、時間内であれば何回でも質問することができます。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を起こし掲載しています。今定例会の質問議員は7人でした。次のとおり紹介します。

頁	質問者	質問事項
9	池田 宜広	①町道管理 ②防犯体制 ③獣害体制
10	中村 茂	①町民の所得アップ（全国平均所得ランキングから） ②「子育て支援パスポート事業」の積極推進 ③日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の対応 ④未達成と思える事業の進捗及び方向
11	中井 次郎	①集落内道路の維持管理 ②介護保険制度 ③核兵器禁止条約
12	高橋 邦夫	「ふるさと納税」について課題を整理する
13	岩本 修作	①浜坂認定こども園移設先
14	西村 銀三	①浜坂病院の未来は ②町長公約 ③高規格道路
15	谷口 功	①国連で採択された核兵器禁止条約 ②地域医療構想と浜坂病院新改革プランで浜坂病院は守れるか ③連携中枢都市圏構想は、新温泉町にどんな価値があるか ④人口減少とまちづくり ⑤遊覧船・ジオパーク館・海岸の観光

※質問は通告受け付け順に掲載しています。



池田 宜広 議員



「路面修繕必要町道」 早期修繕に努めよ

町長 都度対応に努める

「町道管理」について

問 道路管理パトロールはどの程度のサイクルで行っているのか。かなりの轍、亀甲亀裂の道路があるが。

町長 主要幹線は、月2回行っている。その他の路線は区長さん方や、地域の皆さんの情報で対応している。

問 修繕、補修となるのはどのような状況になったときか。

建設課長 修繕計画では通常、ひび割れ率が

40%以上になった時に、打ちかえる。

町長 当然、急がれる修繕が必要な部分は都度対応している。

問 命を繋ぐ道路。住民皆が安心安全に歩行でき、走行ができる町道にすべき。

町長 鋭意速やかな調整のうえ対応する。

「防犯体制」について

問 わが町には幸い大きな犯罪は起きていない。田舎とて、いつ起こってもおかしくない犯罪に、町としてどう対応するのか。また、起こったときの犯人逮捕の手がかりの一つとして、防犯カメラの設置が必要ではないか。

町長 確かに防犯カメラ

は犯罪の抑止力になると思っている。私どもは、地域の皆さん、各種団体、代表者の方々など多くの町民の皆様のお陰で、県下でも刑法犯の発生件数は一番低い状況にあると認識している。

問 防犯だけでなくゴミのポイ捨て等、監視も必要だ。

町長 公共施設であればもちろん、公費負担で設置し、そうでない施設にあっては、各種団体に支援措置を講じていくための要綱等を整備し、犯罪抑止に努めたい。

問 防犯灯、街路灯も現在少ない箇所が見受けられる。子ども達の安全を確保することを含め、できるだけ

の設

置を求める。

町長 商店街等々、各所設置する場合は補助措置の中で設置されていると認識している。その意は十分に理解している。

「害獣被害対策」について

問 前年度で質問したこの対策、次年度には何らかの対応をとりたいとの答弁であった。

現在の進展状況はどうなっているのか。

町長 効果的、安定的な施設を念頭に置いて検討している。

農林水産課長 但馬全体の課題でもあり広域的な処理も含め、わが町としては一つの方法として、微生物を使った処理施設、減容化施設をコスト面等、色々な角度から検討をした。



道路の安全走行には随時の補修が必要である。適宜適切な対応を求めたい。

町民所得は県下40位、アップの方策は

町長 企業や事業所の体力アップを支援する



中村 茂 議員



問 総務省発表の2016市町別平均所得額で新温泉町は255万4,454円、ランキングは全国1,741市町村中で1,240位。兵庫県内では41市町のうち40位。(最後から2番目)。この現実をどう思うか。町民の所得アップに向けた取り組みはあるのか。

町長 就任して7年になるが地方で暮らすということは、所得やランキングで「住みやすさ、生活しやすさ」まで推し図れるものではない。行政として、直接的な取り組みはない。しかし、企業や事業所の体力アップを支

援し、起業においても一定程度の支援措置を講じている。間接的だがそれが賃金などのアップにつながると思う。

企業誘致は地場賃金に影響

問 本町では、雇用の場等の拡大のため、旧温泉高校を地域活性化施設として企業誘致を進めているが成果が上がっていない。トップセールス、施設管理、情報発信、県との特約など、現状は。

町長 今日まで、なかなか当該施設に企業を誘致することができなかった。いましばらくお待ちいただきたい。グラウンドや建物の管理は目に余る部分があれば、対応する。

子育て支援パスポートを積極推進すべき

問 内閣府は、全国的に「子育て世帯」を支援するため、平成28年度から「子育て支援パスポート事業」を展開している。本町でも、事業所を含めて積極推進すべきと考えるが。

町長 子育て支援策が自治体間で過当な競争になっている側面がある。同事業で、町内の登録事業所はコンビニ店3件、金融機関7件、宿泊施設3件、塾5件。社会環境の一つの整備

として、企業や団体等、地域を挙げて子育てに取り組んでいきたい。町の子育て施策も積極的に発信したい。

「北前船」寄港地の諸寄を日本遺産に



地域活性化施設で定義された旧温泉高校跡地は、雇用など町を元気に誘導する重要ポイントだ。早期に活用すべき。

問 本年4月に北海道から福井まで7道県11市町による申請で新たな日本遺産となった「北前船寄港地・船主集落」だが、本町(諸寄)も寄港地として周知されている。今後の兵庫県

の動きと本町の対応を聞きたい。



中井 次郎 議員



集落内道路補修の補助要綱を新設せよ

町長 具体的な事案の中で対応させていただく

問 集落内を回ってみると、生活基盤である道路が多く存在している。その道路も雪や雨の影響もあり、亀裂が入り、放置すれば崩れてしまう恐れがある箇所が多く見られる。当町には道路の整備のための狭小（きょうしょう）道路整備事業補助金交付要綱があるが、この対象とならない道路、幅にすれば2メー

トル以下の道は維持管理、補修のための補助金交付要綱がないのが実情だ。こういった中で集落が写真と地図を添えて、地域振興事業への採択を求めても、財政状況の関係もあり、なかなか採択されないのが実態だと思われるが、このような状況について、どのように考えているのか。

町長 里道の計画的な補修、修繕についてはそのような要綱を決めていないのが実情である。地域振興事業で要望を出しても、採択されないということだが、どうしても住民の生活にとって必要だと

すれば、ここ具体的に必要だと言っていた方が対応が早いと思う。担当課を通じて



狭小道路整備事業の対象外である集落内道路は生活道路として重要だ。維持に対する制度を求めたい。

お示しただけならばと思う。
問 浜坂地区でも居組とか諸寄、浜坂の中でも浜に近い地域に細い道があるが、その道路は町道に認定されているのか。
建設課長 浜坂地域、

特に漁港を抱えている地域においては、町道認定している。
問 町道は町が管理するのか。里道は誰が管理するのか。集落が勝手に管理せよということなのか。浜坂は漁港がある町なので、当然狭い道路も町道として認定されているわけで、壊れた時は町の町道維持修繕等管理規則に基づき修繕ができる。温泉地区においては狭い道路の維持管理については地域振興事業に基づいてしかできない。同じ町でありながら違った行政の施策でやられることに問題があると思うが。
町長 具体的な事案の中で対応させていただく。

2年8期の総括は

町長 一定の改善はできた



高橋 邦夫 議員



2期8年の総括をどのようにしたのか

問 通算80回目の質問となる。少子高齢化あるいは過疎化にどう取り組むのか理事者も議会も認識を合わせておかなければならない。町づくりの一定のデザインを描いて8年、その総括が必要だ。

町長 合併後の様々な課題、小学校の再編、浜坂病院が非常に苦しく、その手立てに追われる日々であった。人口減少が合併時の予測より倍の速度で進行しており、地域の活力を総生産とともに確固たるものにしていく努力が未来を切り開く。

問 本当の意味で削減する町が一番手、人口減少が極めて厳しい町と言った認識を理事者も議会も町民も本当に危機である認識を持つべき。この8年は希望がなく、確かな足取りの認識はなしに閉塞感に満ちたものだった。不十分終わった部分への反省はどこか。

町長 色々な評価があると思う。信を問うとは、まさにその事だ。

「ふるさと納税」への認識を再度問う

問 今一度「ふるさと納税」の認識を合わせたい。28年度決算で住民税の控除額が

197万円あるが、そもそも住民税とは自治体にとっては何か。

町長 地方公共団体が住民サービスに伴う負担を課税権の行使によってお願いするのが住民税だ。

問 国が制度として「ふるさと納税」を認めている。最大限利用すべき、お金を集めた方が勝た、という行政経験者もいる。私は新温泉町ふるさと納税条例の提案者だが、返礼品をすることなど微塵も考えていなかった。町長はどの様な返礼品をすれば寄付金が増えると思うか。

町長 制度本来の趣旨が十分生きてない。返礼品は一切廃止すべきと思っている。

問 寄付金より減税額が上回ると実質マイナストとなった場合、わたしなら何らかの手を打たなければならぬと思う。町長はどう対処するのか。



ふるさと納税制度が返礼品で大きく変化している。制度は制度として尊重し、町の特産振興は並行して対応すべき。

町長 29年度は多分マイナスになるかも知れないと認識している。しかし、今後とも返礼品競争はやめるべきだと様々の席で申し上げていくし、住民税の大切さを住民の皆さんに改めて啓発に取組むべきと思う。

問 仮に但馬牛を返礼品に充てた場合、新温泉産の育牛では需要に応えきれないとの声もある。供給体制も出てないと思うが。

町長 需給関係によるが肥育では町内ではないのも事実だ。

問 課題とされる8項目の中に浜坂病院の経営・浜坂認定こども園の移転改築・地域コミュニティの再建・限界集落に対する考え方も入っているのか。

町長 いずれも町が将来にわたって維持していく上で大きな行政課題と認識している。



岩本 修作 議員



浜坂認定こども園の移設先は、すこやか広場に決定したのか

町長 すこやか広場に設置するという結論ではない

問 代替場所として浜坂中学校にナイター設備を設置して利用するという案がでている。現在すこやか広場の利用団体がグラウンド

た喫煙場所は設置するのかが、いろいろな問題があり併用して利用するのは難しいと思うが。

ゴルフは朝の8時から利用していて、学校の授業と重なり難しい。浜坂高校の陸上部とジュニアサッカーは放課後の利用で中学校の部活動と重なり利用はできない。また夜間のナイターを利用となると、トイレの設置、ま

町長 中学校を、のべつ幕なしに使う考えは持っていない、代替案も十分意見を聞いて庁舎内の調整協議をしながらい今後進んでいく。

問 すこやか広場に移設にあたって、多くの反対意見があるが、その反対者の理解を求めると、移設先をすこやか広場ではなく、別の場所に変えるか、また、すこやか広場にこども園を移設して、代替場所として学校のグラウンドではなく、別の場所にグラウンドをつくるか、どちらかしかないと思うが。

町長 この町の土砂災害の危険区域を見ると適地というのが非常に限定されている。すこやか広場も黄色の区域であり、なかなか適地というのが見当たらないのが実態である。グラウンドであれば設置することは可能ではあるが、安全を確保しなければいけないこども園となると、黄色の区域に設置することは考えられない、代替地については誠意を持って今の利用実態をしっかりと踏まえて対応する。

問 この町に人を呼ぶ武器としてスポーツは大変大きな力だと思える。スポーツを通じてこの町にたくさんの人に来てもらうには、この町のスポーツ施設の

充実というのが大事ではないか。小・中学校の各大会もこの町でできたら保護者の方の送迎の負担も軽減されるのではないか。また、すこやか広場を利用している方々も理解をいただけたらと思う。仮に浜坂認定こども園がすこやか広場に移設先が決まった場合、こども園の建設の着工するまでに代替場所は先に

つくってもらい、すこやか広場の利用者に迷惑をかけないようにすべきだ。
町長 「スポーツ・学術・文化」で町づくりができた本場にすばらしいことだ。そういう意味でのしつかりとした施設整備という提案を受けとめ、スポーツの振興、文化の発展に役立つようなものにしていきたいと思う。



「すこやか広場」はスポーツ振興の本拠地、移転するなら継続利用ができるようなバックアップが必要だ。

浜坂病院の将来は

町長 他の機関との連携をはかる



西村 銀三 議員



問 この3年間で一般会計から11億円以上投入されている。28年度の病院利用実態と今後の方向を問う。

町長 総合診療科・整形外科・小児科など6科あり、職員は医師が6名、看護師35名など総勢74名だ。1日当たり入院は30名、外来は103名、一般の会社の売上に当る医業収入が5億1,000万円、支出に当る医業費用は8億7,000万円となっており3億6,000万円の赤字となっている。今後は他

の病院や介護にかかる機関との連携をはかり回復期を担う病院として地道に努力したい。365日24時間対応が理想だが、今後人口減少などを見据えた上で考えていく。

問 累積赤字はいくらか。管理者の運営責任は。

町長 32億円だ。議員が給与を減らせというならそのようにしたい。

町長公約は果たせたか

問 平成21年の選挙

公約は5つあった。1番目が「温かい町づくり」、2番目が「安心な町づくり」、3番目が「子育てにやさしい町づくり」、4番目が「豊かな自然と歴史、特産品を生かした町づくり」、5番目が「無駄

のない開かれた町づくり、生活に根差した事業の推進」となっているが。

町長 1つ目は非常に抽象的な公約であり、そのような心構えで取り組んできた。2つ目は病院問題であり、眼科



多くの参加を得た「地域医療夏期セミナー」は、病院の現状と将来の説明の場である。健全経営に期待したい。

もでき病院としての一定の形を取り戻せた。3つ目は、若者定住や子育て環境には努めて整備をすすめた。4つ目は、充分ではないが9月に道の駅もオープンするし、情報発信、誘客、特産振興につなげたい。5つ目については、ケーブルテレビの浜坂延伸、駅前方ラー舗装などの中止し、一方で生活道路や住民に必要な施設に対応してきた。

問 2期目は交流人口の拡大とエココンパクト構想の中で温泉付住宅の推進をあげていたが成果は。

町長 湯村温泉の入込客は15万人から22万人とおおきく増えた。お試し住宅で温泉付の一軒家を準備したが、なかなか進んでいない。



谷口 功 議員



核兵器禁止条約批准の行動を起こそう

町長 条約は意義あるもの

問 国連で核兵器を違法化する核兵器禁止条約が採択された。一方、北朝鮮が核兵器開発を

すすめながら、ミサイル発射の蛮行を繰り返している。国連安保理決議違反、6か国協議違反であり断じて許されない。日本は憲法9条を持つ国として、東アジアの平和と安定に果たすべき役割がある。と考えるが、どのようにお考えか。
町長 東アジアをめぐる国際関係の緊張が破

滅的な事態を招く恐れがある、それを助長するような言動は慎むべきだ。

問 核兵器禁止条約を日本政府が批准するよううに平和首長会議参加のまちに相応しい行動を起こすべきだ。

町長 核兵器禁止条約は意義あるもの、日本国においては批准すべきだという思いは持っている。

問 定住自立圏との違いは、連携中枢都市圏ビジョン懇談会を立ち上げ、ビジョンを決定する。その懇談会には6町は参加できないこととなっている。この連携中枢都市圏は都道府県をこえた道州制(合併)ではないか。

町長 ビジョン作成の

段階に町が入れないなどということはある。道州制につながらないように声をあげていきたい。

浜坂病院を利用し守ろう

問 地域医療構想と新浜坂病院改革プランができたが、その具体化には無理がある。少子高齢化で医療費・介護費用がかさむのでどう抑制するかが目的となっているからだ。浜坂病院再生のヒントは佐久総合病院の視察研修で得られたのではないか。地域に入り、住民との信頼関係の構築。住民ニーズにいかに対応するか。などが強調されていた。学ぶべきで

はないか。

町長 地域住民との信頼関係の構築で、高度医療から予防医療まで、住民の病院として佐久総合病院が存在している点、我が物とするよう努めたい。

浜坂観光エリアの活用を

問 浜坂漁港、遊覧船

水産会社、ジオパーク館、松林、海岸等は浜坂観光の主要エリアだが、この地域の一体的な観光資源の活用が十分ではないか。関係者、団体、行政などが協議をして打開策を見出すべきではないか。

町長 この周辺、味原川を含め、滞在時間をいかに長くするか、検討していきたい。



ジオパークエリア全体を発信する山陰海岸ジオパーク館。周辺の資源と連携させ、滞在時間を伸ばす取組が重要だ。

総務教育常任委員会

平成29年9月5日開会

こども教育課

報告事項

浜坂認定こども園の移転改築について

Q 6月以降の経緯は。
A 7月 先進地視察(白兔保育所)

8月 体育協会団体及びすこやか広場利用団体代表者説明会
8月 浜坂認定こども園保護者説明会

協議事項

動産の購入

物件 通学バス
金額 1,261万円
落札業者 三和カードック

一般会計補正予算

以上2件は委員会として了承した。



浜坂認定こども園の移転は、十分な説明をもって住民理解を進めるべきが基本である。

生涯教育課

報告事項

図書館・先人記念館
八田コミセン・夢ホール等の利用状況の報告

税務課

報告事項

29年度町税徴収実績

協議事項

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

3名

Q 今この時期なのか。

A 29年12月で現委員の任期満了である。委員会として了承。

企画課

報告事項

公共交通機関等の利用実績の報告



平成29年12月1日開局予定で工事が進むNHKラジオ中継局。明快な放送が楽しみです。(用土)

ケーブルテレビ加入状況

風力発電について

民間の業者が風力発電を計画、現在風況調査等を進めている。

NHKラジオ中継局

Q いつ開局か。

A 12月初旬と聞いている。

Q ゆめぐりエクスプレスバスの利用客が少ないが。

A 3.5便が2往復便になったからである。

協議事項

豊岡市と新温泉町との定住自立圏の形成に関する協定の変更について

委員会として了承

総務課

報告事項

町民センター使用状況

健全化判断比率及び資金不足比率の報告

協議事項

H29年一般会計補正予算

委員会として了承

産業建設常任委員会

平成28年9月6日開会

牧場公園課

報告事項

Q 但馬牛監理技術習得支援プログラム事業補助金交付要綱は地域おこし協力隊の方の為に作ったものだと思うが、プレッシャーにならないのか。

A 基本的には、ここで住んでほしいという願いがあり、この手助けをする制度である。金銭的にも生活にも負担を軽減し、定住するためのプレッシャーを和らげていく。

協議事項

一般会計補正予算(第2号)について

異議なく承認。

農林水産課

報告事項

Q 漁業外国人実習生の受け入れ事業を10年間継続しているのは素晴らしいことであり、10周年を記念して何か事業を考えてはどうか。

A どのようなソフトウェアが可能な検討し、年度末までに考えていきたい。

協議事項

農業委員会委員の任命について

農業委員会委員の任命同意について

一般会計補正予算(第2号)

異議なく承認。

建設課

協議事項



漁業外国人研修生受け入れ事業10周年。総勢112名が浜坂の漁業を支えてくれた。研修後の成功を祈りたい。

町道路線の廃止及び認定について

平成29年度補正予算について

①一般会計補正予算(第2号)

②浜坂残土処分場事業特別会計補正予算

③温泉地区残土処分場事業特別会計補正予算

異議なく承認。

商工観光課

報告事項

Q 地域の特産品の詳細を知りたい。

A ㈱特産しんおんせんは、直売所と精肉店、但馬屋食堂を運営。テナントでは春來そば生産組合がそばを販売する。直売所では委託販売として野菜、魚の加工品、竹輪、花、また仕入れ商品として土産物などを販売する。

精肉店では但馬牛、町内産の豚肉、但馬産の鶏肉を販売していく。

但馬屋食堂のメニューは精肉店が扱っている肉を利用したステーキやハンバーグ、ローストビーフ等があり、また時期に応じて海鮮丼のような定食を扱う。

協議事項

一般会計補正予算

異議なく承認。

付託意見書

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置移管する法律」と全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について。

委員全員が議員提案として意見書を提出することを承認。

環境福祉常任委員会

平成29年9月7日開会

町民課

報告事項

ゴミの分別収集変更について

アルミ缶とスチール缶が別々の日であったが、10月1日から飲料缶として一つになる。

防犯カメラ設置補助金交付要綱について

Q 設置場所は地域の合意形成が必要とのことだが、どんな事か。

A プライバシー保護が第一前提である。

Q 補助金額はどの程度か。

A 県、町各8万円づつ交付する。

Q 公共施設にも設置すべき。

A 今後検討する。

協議事項

一般会計補正予算は、委員会として了承した。

健康福祉課

報告事項

ユートピア利用状況について

Q 2階広間の活用をもっとすべき。来館者のみの利用でなくてもよいのではないか。

A 全体で協議検討し有効利用を検討する。

協議事項

一般会計補正予算及び各事業会計補正予算は、委員会として了承した。

上下水道課

報告事項

下水道接続率報告書について



安全・安心のため防犯カメラの設置が必要となっている。設置にはプライバシーへの配慮が重要である。

Q 接続率が伸びていないが、何か対策はしているのか。

A 事業所等については個別訪問し、未接続理由の確認と合わせて早期接続に向けた取り組みを依頼する。

接続率（浜坂地域）

個人 81.0%

接続率（温泉地域）

個人 76.9%

協議事項

七釜温泉事業会計補正予算は、委員会として了承した。

浜坂病院

報告事項

来院者状況について

Q 常勤医が6名いることをもっと町民に知らせるべき。

A 広報等を活用し周知に努める。

病院情報の提供について

- ① 県養成医学生による夏季セミナーを実施
- ② 医師、看護師による地域巡回講座を実施

市長 新温泉町長 五嶋 良吉	小児科 非常勤医師 井上 満夫 小児科 非常勤医師 (ふたば園) 太田 穂穂美	事務長 吉野 松樹 経営課長 尾崎 淳子
診療部長 高木 一光	薬剤科 非常勤医師 黒田 均	看護部長 岡田 きよみ
総合診療科 部長 松岡 学	神経内科 非常勤医師 (兵庫県立大学) 蒲 恵蔵	医療科 部長 大下 勝
整形外科 部長 片岡 善夫	耳鼻咽喉科 非常勤医師 兵庫医科大学医師 兵衛 義典	検査部長 土江 克彦
泌尿器科 部長 谷風 三郎	内科 非常勤医師 (公立豊後大学) 山田 貴裕	登録医療機関 新温泉町立 浜坂病院 〒767-0201 新温泉町 下町 1-1-1 TEL 0854-22-1111 FAX 0854-22-1112 E-MAIL info@hikasa-hospital.jp
総合診療 部長 迫 健太郎		

浜坂病院の玄関に設置の名盤。医師の先生ほか医療スタッフの責任者です。病院改革に期待したい。



挿し絵 清水伸子氏

「自由・信頼・叡智」で社会奉仕

温泉町ライオンズクラブ

会長 中井 正

活動内容は…月二回の例会(第二・第四木曜日)4つの委員会を組織し、社会奉仕活動を中心に活動しています。主に、年末街頭募金活動、献血活動協力支援、交通安全キャンペーン、飛び出し防止看板の設置等による交通安全運動支援、薬物乱用防止教室の開催等による学校教育支援、青少年健全育成事業などを行っています。

(We Serve)を合い言葉に、社会奉仕、地域奉仕をしています。自由・信頼・叡智の絆を大切にしたいクラブに努めています。

いつから…1968年(昭和43年)4月に結成、同年7月に認証状伝達式(チャーターナイト)を行い、社会及び地域に奉仕活動を通して貢献する団体として、25名のメンバーでスタートしました。

今後の抱負は…今年度は、記念すべき50周年にあたります。これから、長きに渡り、地域に貢献できるクラブ団体として活動を展開していきたいと思えます。

メンバーは…会員は、正会員16名、終身会員2名、家族会員6名です。

皆さんにお願したいこと…本クラブの運営並びに活動にご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。また、一緒に活動していただける方をお待ちしています。

新温泉町在住、或いは同町内で勤務等をして



活動しませんか。

会のセールスポイントは…「我々は奉仕する

ります。是非、メンバーの一員として一緒に活動しませんか。

編集後記

いよいよ今回が、現任期で最後の発行となりました。

議会広報の主な役割は、「議会と住民の橋渡し」を行うことです。

このため6人の素人集団でしたが、住民に愛読される紙面づくりに努力して参りました。

全国的に議会改革が求められ、広報資料をさげて住民との直接対話「議会報告会」に向く日も近いといえます。

4年間にわたり広報委員長を務め、微力ながら橋渡しができたことに安堵と感謝を申し上げます。

(S・N)

次回定例会は12月です。傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会	
委員長	中村 茂
副委員長	池田宜広
委員	岡坂峰雄
	西村敏弘
	宮本泰男
	岩本修作

発行者 議長 小林俊之